



2011.3.11 東日本大震災

現地支援委員会

ニュースレター

「第31号」

2017年9月20日

全国諸教会・伝道所の皆様、日頃からお支えと励ましをありがとうございます。東日本大震災から6年と半年が過ぎ、復興が進んで新しい生活を始める方も増えてきました。しかし、宮城県南三陸町では堤防の建設進捗率が未だ1.3%という報道がなされ（2017年8月）、まだまだ復興作業が進んでいない地域もあります。福島の問題も深刻であり続けています。続けてお祈りください。今号では西南学院大学ボランティア受け入れの様子をお届けします。

被災地を知る旅、出会いの旅 盛岡チーム

全国各地で水害が起こったこの夏、西南学院大学のボランティアの方々をお迎えして、一緒に岩手県の沿岸部を訪ねました。参加された学生・教職員の方の中には、岩手を覚えて続けて参加された方が3名おられました。参加者の中の「今の東北は数年後の九州」と

の言葉が印象的でした。毎年参加している学生さんは、高台から大槌町を見渡してみて、「去年よりだいぶ復興が進んでいる！」と驚いていました。けれども、「6年半も経つのに、まだこういう状態だとは知らなかった。来てみないと分からない」との感想もありました。

2日目は、4分で壊滅したといわれる田老町の語り部さんから話を聞きました。津波のリアルな話、あの日の映像に、みな言葉を失いました。「津波は怖い。怖いと思った人は逃げて助かったんだ」。現場で直接聞くお話は、文章では書ききれない重みがありました。また、今年も安渡公民館、小槌第4、第7仮設集会所でのお茶っこや、マッサージ、うちわ作りのワークショップを行いました。「また緑の人たちが来てくれた」「バプテストさんが来てくれた」と喜ぶお母さん方ですが、九州の大雨にも心痛めておられるご様子で、「向こ



👉 現在の大槌町の様子

うも大変だね。津波を思い出す。切ない」と、九州と東北、それぞれ互いに励まし合う場面もありました。復興が遅れ「ボランティアはもう来なくなった」と言われる大槌町の方々にとって、覚えられていることは大きな力になっているようです。特に若い方々のエネルギーに、被災された方々の表情もぱっと明るくなっていました。

「バプテストさんが来るから」と、すでに仮設を出られた方々も、一日に3本しかないバスに乗って、集会所に集まってくださいました。帰りは、教会員の佐藤さんが車で送られましたが、「近くに住んでいるのかと思ったけれど、だいぶ遠くまで送っていったよ」と、実は遠くから集ってくださったのだと知りました。西南の方々が来られることは、現地の人々を本当に力づけています。若い力に感謝でした。

（盛岡教会 小川 紋子）



👉 お茶っ子後のお見送り



👉 うちわ作りの様子 👉

被災地を知る旅、出会いの旅 宮城チーム



👉 牡蠣養殖準備作業



👉 新鮮野菜仕分け作業



👉 牧浜仮設納涼まつりの様子



👉 お茶っこ後のお見送り



👉 荻浜：江刺区長さんのお話

今年も西南ボランティアチーム14人が東日本大震災復興支援のために8月31日（金）に来仙しました。一日目は関上、荒浜を訪ね、震災遺構を見学し語り部の話を聞きました。二日目、午前中は大川小学校を訪問。立ち寄った石巻市日和山ではかつての市街地を眺望しながら地元のボランティアの方の説明を聞きました。午後から牧浜で牡蠣の養殖準備作業の手伝いをしました。その夜は、牧浜集会所に宿泊。豊島区長さん手作りの浜料理をいただきながら交流を深めました。3日目は3班に分かれて、牧浜、荻浜、鮎川方面での支援活動。牧浜ではお茶っこ「納涼まつり」で、カフェ、ゲーム等のコーナーを担当しながら地元の方々とふれ合いました。荻浜は仮設住宅が9月に閉じられることから、高台の新集会所で最後のお茶っこをしました。鮎川は点在するお宅を訪問しました。帰途、荻浜、月浦に寄り、荻浜区長江刺さん、月浦区長相澤さんから震災当

時のお話を聞きました。4日目は仙台、南光台、大富の各教会に分かれて礼拝を守り、夜は南光台教会の笠松さんから原発と放射能問題、西南ボランティア室の山口さんから熊本・大分地震、福岡北部豪雨災害支援活動について聞きました。

福島で震災を体験した学生は、「直接的ではないが、“差別”の存在は感じてきた。今回のこのチームでは原発事故のことを語ってもいいんだという安心感が持てた。このチームのメンバーと来られてよかった」と言います。被災地を訪れて、災害の威力を実感し、防災に思いを巡らしたという学生もいました。東日本大震災のボランティア3回目という学生は、そこで出会った人々と東北の風土の美しさに惹かれたと言います。震災当時小学校6年生だった学生は、ずっと来たいと思っていたが、この年齢になったから理解できることもあったのだろうと振り返っていました。（仙台教会 一瀬 千恵子）